

	提 案 名	提 案 団 体 名	
		代表者氏名	所 属
13	宮っ子自転車おかたづけ大作戦	宇都宮大学中村祐司研究室まちづくり提案Aチーム	
		倉島 智代	宇都宮大学 国際学部
		指導教員 氏 名	中村 祐司

1 . 問題意識と目標

1) 問題意識

宇都宮市の中心市街地は、オリオン通り商店街やパルコ、東武が立ち並び、高校生から主婦、高齢者など幅広い年代が訪れ、買い物などを楽しむ宇都宮市の繁華街のひとつである。その中心市街地への主な交通手段として、自転車が挙げられる。

自転車は、身近な交通手段として多くの人に利用されている。その利点としては、自動車やバスなどに比べて渋滞などの交通状態に左右されないで目的地に行ける、目的地のすぐそばまで行けるということなどが挙げられる。また、駐輪場所をあまりとらないということも挙げられる。自転車はガソリンを使わず環境にやさしく、エコロジーな乗り物として、現在、注目を集めており、今後ますます利用者の増加が予想される。

そこで、自転車の駐輪マナーをあらためて見直す必要があるのではないだろうか。中心市街地は、自転車で訪れる利用客が多く、以前から自転車の交通マナーが問題視されている。中心市街地では、通りに駐輪されている自転車をよく見かけることがある。通りに停めてある自転車は、通行できる歩道のスペースを狭めるだけでなく、歩行者や自転車の通行の妨げとなり、危険である。また、整備もされず、乱雑に停められているため、その通りの景観を損ねてしまう。中心市街地における駐輪のマナーはどうなっているのだろうか。これからますます問題となるだろう自転車における駐輪について検討したいと思う。

2) 目標

前述したように、通りに無秩序に停められた自転車は、安全上の問題、景観の面からみて、迷惑であり、なくしていかなければならないものである。そこで、路上駐輪をしてしまう背景や要因を探り、そのことから宇都宮市の中心市街地、特にオリオン通りにおける路上駐輪をなくし、景観の向上を図ると共に市民にとっての憩いの場を提供することを目標に施策事業を提案したい。また、これらの施策事業を通じて、商店街での連携・協力を促し、中心市街地の活性化にも繋げたい。